

平成21年1月17日～21日

フィリピン カパロンガ訪問報告書



NPO法人 WITH事務局
〒504-0913 岐阜県各務原市那加大東町61番地の2
TEL.058-382-3688
FAX.058-389-1201

<http://www.with-pj.org>
E-mail/info@with-pj.org



「W I T H」は、
アジア諸国における植樹活動および
物資支援を行う特定非営利活動法人です。

近年、アジアを中心に各国で地滑り・水害など多数の災害が発生し、多くの犠牲者が出ており、地球温暖化も進んでおります。その原因として、後を絶たない森林の違法伐採があげられ、年々悪化しつつあります。

この問題の解決の糸口として、アジア諸国での植樹活動および各地の子供たちに物資を支援し、健全な育成を図ることを目的とし、2007年9月、特定非営利活動法人「W I T H」を設立いたしました。

未来の地球環境に貢献すべく、今後も活動を継続し、拡大していきたいと考えております。

2009年1月17日～21日の5日間、今回3回目のフィリピンのカパロンガに行ってまいりました。

マングローブ植林1000本と地元の小学校の生徒達に約340kgの衣服や文具の支援をしてきました。

今後とも「W I T H」の活動にご賛同いただくとともに、ご支援・ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

代表 橋本 佳幸

今回のカパロンガ訪問前に岐阜県のたから幼稚園・坂祝小学校・長良中学校・神奈川県山手女子高校などの皆さまからフィリピンの子供たちへの衣類や文具をご支援いただきました。本当にありがとうございます。



たから幼稚園の皆さま



山手女子高校の皆さま



長良中学校の皆さま



坂祝小学校の皆さま



皆様からの温かいご支援により今回の訪問の荷物は沢山です
訪問に向けて荷づくりも大変嬉しい悲鳴です。



前回に続き明日からフィリピンに出発です 地元の人々との出会いが楽しみです

平成21年1月17日 AM8:30

セントレア空港集合

朝の渋滞で空港到着時間ぎりぎりです。

14名全員集合いよいよ出発です。

ココでハプニング発生！子供たちへの衣類の入った荷物が重量オーバーです。前回の経験で持参した大きな袋に分けて手荷物としました。

AM12:00 台北着

乗り継ぎの時間を使い、セントレアでできなかった

初顔合わせのメンバーもいますので

まずは空港で自己紹介を兼ねて各位、今回の抱負を発表しました。

PM13:55～ フィリピンマニラ発

PM16時～ フィリピンマニラ空港着

まずはホテル「リビエラマンション」へタクシーで向かいます。

ホテルにてチェックインし、各位しばらく休憩。

PM19:30 近くのショッピングセンターにて

夕食ステーキハウス「フライデー」さんで肉料理。

まずはスタミナをつけよう。

いよいよ現地に来た実感がわき、

食事中は19日からの活動に

ついてスタッフ一同話が尽きませんでした。



セントレア空港にて



台北空港で自己紹介。スタッフ一同意気込みを発表



台北空港にて



フライデーにてお食事



フィリピンに到着。空港ロビーにて



ホテルまでタクシーで移動。荷物の多さに現地の方もビックリです。

18日～ 終日自由行動

まず、マニラの町を歩いていると、
ストリートチルドレン達が、
手を差し出してきます。

明日はAM1:30にロビー集合

AM2:00に出発です。

各位、明日に備えて早めに休みました。



マニラの様子。遠くに見える町には高層ビルが立ち並んでいます。

19日 AM1:30

スタッフ一同深夜にロビーに集合。

カパロンガへいよいよ出発です。

出発前のオイスカさんとのスケジュール確認の際

18日の日曜日が子供たちが少ない

ということで急遽日程を変更しました。

そして現地着2日目の出発となりました。

各自、小学校の子ども達にプレゼントや衣類

などをロビーに持ち寄りました。

約340kgもの荷物で、バスに乗らないほどです。

手分けして仕分けを行い全ての荷物を積み込みました。

(自分たちの荷物は後回し、最小限の荷物で出発です。)



マニラの町のストリートチルドレン



AM2:00

「オイスカ」のウェルマン氏と約一年ぶりの再会です。
今回もカパロンガでの活動の手助けをいただきます。
まずは、バスの中で挨拶をいただきました。



オイスカのウェルマン氏



AM2:15

マニラよりカパロンガへ出発。
約9時間の予定の長旅です。
始めはスタッフ全員目が覚めて、
また話が盛り上がりました。



カマリネスからの道のりは整備が遅れています



トライシケルに乗る人々

AM4:30 休憩

AM7:00

「カマリネス」のガソリンスタンドで朝食を兼ねて休憩です。
ここで雨が降ってきました。朝なのに空は真っ暗でした。
オートバイを改造した「トライシケル」
で大勢の人たちが行きかっています。
この辺りに来ると、マニラの町とは違い、
ヤシの木の皮やトタンで作られた家が数多く見られます。



マニラから離れるにつれてヤシの葉やトタンの家が目立ちます

AM10:00

カパロンガ到着。

予定より少し早く到着しました。

スタッフは仮眠をしっかりとることができました。

市役所の方々が出迎えてくれました。



AM10:15

カパロンガ市役所着

到着したとたん雨が強くなってきました。

この後のマングローブ植林に影響がないか心配です。

カパロンガ市長「JALGA LADO.JR」ラド氏訪問。

市長さんからあたたかい出迎えを受けました。

館内にて、温かい飲み物のおもてなしをいただきました。

市長「今日は少し運が悪かったですね。この時期は雨はあまり降らないのですが。」

「このカパロンガをどのようにして知ったのですか？」

橋本「オイスカさんを通して、この町を知りました。」

「前回訪問した際に、また来ますと子供たちと約束をしました。」

「日本の子供達からの温かいプレゼントの衣類・文具などをカパロンガも子ども達に渡して使っていただきたいです！」

市長「素晴らしいお考えですね。ありがとうございます。」



ラド市長と代表の橋本



AM10:30 ~

カパロンガ市役所視察

議長「ROLAND ESTVRS」

エスティバス氏

市長との話の後、市議会中の議員の

皆様に挨拶をしました。

毎週月曜日に会議を行い、

より良い町づくりについて皆様

で話し合っているそうです。

議会ではパソコンとスライドを使い

会議を行っていました。

設備の良さに驚きでした。



議会の様子を見学するスタッフ

市長室を見学させていただきました。

カパロンガ市職員皆様のととても温かい歓迎で、

旅の疲れも吹き飛びました。

市長をはじめ、職員の皆様、ありがとうございました。



市長室の入り口。ドアの上には市長の部屋と書かれています。



市長室で記念撮影。スタッフが市長のいすに座っています。

AM11:00 ~ 11:20

マングローブの植林を行う為、市役所を出発します。

AM11:30 ~ 12:45

少し雨が弱くなってきたようです・

今回のマングローブ植林は約1000本です。

まずはウェルマン氏より植林の説明をいただきました。

ロープで長い線を張り、その線に沿って植えていきます。

苗と苗の間は、成長した時のことを考えて約2mにします。昨年植えたマングローブたちが、少しずつ育っています。

その時が満ち潮だった為、マングローブ達の頭部分しか見えず少し残念でした。

しかし私たちの小さな活動がマングローブのように少しずつ大きくなっていけばと感じました。

植林も大詰め、そこで晴れ間が差してきました。

到着した時よりも空が明るくなり、向こうのほうには大きく育ったマングローブたちが青々とまぶしく見えます。

10ヘクタールのWITH植林地サイトは今回時間がなく見学できませんでした。次回への宿題ができました。

私たちが植えたマングローブは今後、現地のスタッフの方々の管理によって育っていきます。



植林サイトの入り口には歓迎ののぼりがありました



ウェルマン氏による植林の説明、スタッフも真剣です



到着時間が丁度、満ち潮の為前回植えたマングローブたちは頭しか見えませんが、しかし大きく育っています！

マングローブ植林



PM1:00 ~

植林後、地元で植林活動を行い、今回もお手伝いをいただいた「天然資源省」に立ち寄りしました。

そこで、この地方の家庭料理を昼食としてご馳走になりました。素朴な味で、おいしくいただきました。

日本でもよく見られるフィリピンバナナ。

現地の完熟したバナナは味が濃くとても甘いです。

食事を取り休憩した後、地元の「ネシオ・オリリア」小学校「Necio-Olila」に出発です。子どもたちの笑顔が楽しみです。



天然資源省の皆さまにも物資の支援を行いました



学校の入り口には歓迎ののぼりが掲げてありました



PM2:00 「Necio-Olila」ネシオ・オリリア小学校到着。

ここで子ども達に日本で集めてきた衣類、文具などをプレゼントします。

バスから荷物を降ろしながら、日本で物資の協力をいただいた皆様の顔を現地にて思い出しました。

到着すると、約200名の生徒の皆様が並んで、日本とフィリピンの国旗を振りながら笑顔で迎えてくれました。

私たちは屋外のステージに上がり、生徒たちは式典の準備を始めます。男の子が中心になり、教室からいすを運び出します。

PM2:20

ステージ横には日本の国旗とフィリピンの国旗が並んで風になびいています。
式典がはじまりました。

この日の為に式典の次第を用意していただき、会場の方々に配られました。

・国歌斉唱

まずは生徒たちが手を胸にあて、フィリピンの国家を斉唱。

私たちも負けないうらいの大きな声で君が代を斉唱しました。

・レチオ校長先生の挨拶

「同じアジア人として私もとても感動しております。」

「日本の皆様からの温かい支援は未来を明るくする希望を与えてくれます。」

「とても感謝しています。」

・オリバカパロンガ市職員挨拶

「この村のそれぞれの家族の子どもたちが、質のよい教育を受ける為に日本の皆様から頂いた教材文具を使わせていただきます。もっとたくさんの学生がよりよい教育が受けられますよう私たちががんばっていきます。ありがとうございます。今日いただいたものは、大切にに使わせていただきます。」



式典で配られた次第



生徒の皆さんによる国歌斉唱



ネシオ・オリリア小学校長レチオ氏



カパロンガ市の職員オリバ氏

・WITH代表 橋本挨拶（タガログ語でスピーチ）

はじめまして。私は日本でボランティア活動をしている
WITHの橋本と申します。

「タガログ語でスピーチするのは初めてです。

お聞き苦しい点があると思いますが、ご了承下さい。」

「今日までの1年間ここに来る為に、日本の小学校や
幼稚園などを訪問して沢山の友達から、皆さんの為に服や文
具・ボールなどを集めてもらいました。」

「みんなで大切に使ってください。」

「皆さん夢がかなえられるように一生懸命、スポーツや勉強をが
んばってください」



スピーチを真剣な眼差しで聞く子供たち

・生徒の皆様から、ダンスの披露

8名の子どもたちがステージに上がり軽快な音楽に合わせて
私たちにダンスを披露してくれました。

みんなとてもリズム感がよく、目前で元気よく踊る子ども達に
楽しませてもらいました。



突然のダンスにスタッフは手拍子で応えます。

・WITHからのプレゼント

日本から用意した衣類や文具、ボールなどを皆さんにプレゼントしました。

たくさんのプレゼントに子どもたちも驚きの表情でした。

校長先生の合図で2列に並び、一人一人の子どもたちにサイズの合う服を、

私たちが手渡していきました。

午前中の雨からは想像も付かないほどの晴天になり、スタッフ一同汗だくです。

ボールは日本から持って来た空気入れて膨らませます。

子どもたちも待ちきれず、ずっと眺めています。

子どもたちの両手は服やサンダルでいっぱいになりました。

みんなとても喜んでくださいました。

子どもたちの目の輝きに、私たちが力と勇気そして笑顔をもらいました。



親善サッカー試合？

プレゼントをしたボールで、日本代表？ v s フィリピン代表？の親善試合が始まりました。

午前中の雨でグラウンド状態が悪く、スタッフも転んで泥だらけです。

子どもたちの軽快な足さばきに大人もつい本気になってしまいました・・・。

サッカーを見守る私たちと、他の生徒たちも笑いが絶えませんでした。



滑りやすいグラウンドでみんなドロだらけです



サッカー経験者のスタッフも思わず本気シュート！？



さあ試合開始です 日本代表？エンジンを組みます



最後に秘密のプレゼント

生徒たちには秘密にしておいたアメを最後に

一人一人にプレゼントしました。

手に取った子どもたちはすぐに口に入れ、とても喜んでいました。



サッカーの試合中学校全体が笑顔でいっぱいです

別れの時

子どもたちの楽しい交流もあったという間にすぎました。寂しいですが、お別れの時間です。子どもたちは私たちを最後まで見送ってくれました。

PM3:30

小学校の横にある公民館で村の人たちからサンドイッチを頂きました。

強い日差しだった為、私たちも疲れ気味です。

そんな中、その場で割っていただいたココナッツの実の天然ジュースは格別のおいしさです。



丘の上の公民館からの田園風景 田植え機もなく村人が一本一本、苗を植えていました



最後にみんなで記念写真 また子供たち再開したい気持ちでいっぱいになります

PM4:00

村の皆様と生徒たちに別れを告げ、カパロンガを出発。

途中までフィリピン警察の「ケンジ」氏に

護衛をしていただきました。

今日とまるダイエツトシティのホテルへ向かう途中、

マングローブを植えた海岸線を通りました。

また来年来るから、

大きく育ててくださいと思いつつ・・・。



途中まで護衛してくれた警察官ケンジ氏心強いです

ダイエツトシティに向かう途中で休憩です。

バスを降りるとすぐさま両手にピーナッツを

持った少年がやってきました。ついさっきまでの子どもたちとは違い

必死にピーナッツを売る少年を見てまた考えさせられました。

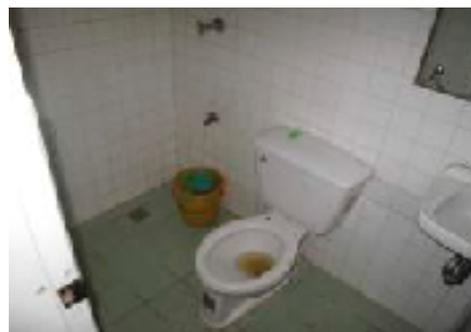


隅りに立ち寄った街の少年

PM6:00 ダイエツトシティホテル「ベルエアー・リゾート」着

マニラのホテルと田舎のホテルは違います。前回、ダニにさされたスタッフの苦い経験で
今回はダニアースを持参。「これで翌朝全身がかゆい！」という心配もなくなるはずです。

トイレには便座がありません。用をたすときはかがんで行き、水をバケツに入れて流します。



PM7:00 夕食

ホテルの近くの中中華レストランで夕食です。
今日一日のハードスケジュールに私たちは腹ペコでした。
食事をしながら、私たちは話すことと笑いが絶えませんでした。
さあ明日はマニラに向かいます。



20日 AM6:00 ホテルを出発。マニラへ向かいます。

AM10:00 休憩

ここはマニラ、カパロンガ、
ダイエツシティの分岐点。
たくさんの人で賑わっています。



ダイエツシティのホテル「ベルエアリゾートにて



マニラ・カパロンガ・ダイエツシティの分岐
の記念碑

PM1:00~ ジャリビーハンバーガーで昼食。帰りのハイウェイはとても混雑しています。

渋滞中のバスに、食べ物や飲み物を売りにくる人がたえませんでした。

たくさんの車が行きかうのを見て、つい先ほどまでいたカパロンガとの違いに改めて驚きました。

町中のハイウェイの横にもスラム街のトタンで作られた家がありました。また、そこで考えさせられます。



PM4:00 マニラ ホテル「リビエラ マンション」到着。

ホテルチェックイン 休憩

PM7:00 夕食 明日は日本に帰ります。

PM8:00 就寝

明日は朝8時に出発です。スタッフ全員食事から帰ると、
疲れでバタンキュー。おやすみです。

21日 AM8:00 ホテルロビーに集合

フィリピンに来たときは、子どもたちへの荷物で私たちの
両手に荷物がいっぱいでしたが、帰りは自分の荷物だけです。
改めてここで達成感を感じ、フィリピンとの別れを寂しく思いました。

AM8:30 フィリピン空港着

AM10:45 ~ チャイナエアラインCI50便にて台北へ

AM12:45 台北着

台北空港は行きの建物と違う所から乗り換えになります。

予想以上に近代的です。

PM16:25 ~ 台北から名古屋へ

PM20:00 セントレア空港着

日本へ帰ると再び冬の寒さに逆戻りです。

岐路の車中では次回の訪問の予定について盛り上がりました。

皆様お疲れ様でした。



台北空港の様子



セントレア空港に到着です お疲れ様でした！